

ひいじいちゃんは人工とうせきをしていて足が思うように動かないので、11月末に玉ねぎのなえをお父さんとお姉ちゃんと植えるお手つだいをしました。

まず土を整えてから山を作っていました。次になえどうしが近くなりすぎないように気をつけながら一つ植えて一歩進みまた一つとどんどん植えていきました。ひいじいちゃんに教えてもらいながら 60 こ植えました。とても大へんだったし、つかれました。これを今まで一人でやっていたのがすごいと思いました。ぼくたちが手つだった事をひいじいちゃんはとてもよろこんでくれました。

「また来年も手つだってね。」

「うん。来年も手つだうね。」と言いました。

玉ねぎはどんどん大きく育っていきました。あたたかくなってもう少しでぬけるねと話していましたが、体ちょうがどんどんわるくなり、ぬく前になくなってしまうました。

落ち着いてからお姉ちゃんとおばあちゃんとひいじいちゃんが言っていた事を思い出しながらぬいて根っこを切ってかわかしました。かわいてから家に持ってかえりました。お母さんがそれを使ったりよう理をして食べました。おいしかったのでいつもよりたくさん食べました。

もうひいじいちゃんはいないけど、土のたがやし方や植え方や色んな教えてもらった事をわすれないようにして、またお父さんたちと植えたいと思いました。

ひいじいちゃんとは一しょにさん歩したりお話ししたり畑仕事をしたり、いちごやみかん、さくらんぼのとり方を教えてもらってとったりと、たくさんの色んな事をさせてもらったけど、植えはじめからしゅうかくまでを全部したのははじめてだったので、とても思い出にのこっています。